

## 評価結果概要表

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3890101235
法人名	特定非営利活動法人Link愛媛
事業所名	グループホームごごしま
所在地	愛媛県松山市泊町266番地
自己評価作成日	平成29年2月11日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成29年2月23日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>・興居島では唯一の入居のできる施設である。この1年間では、高齢の島民が急に在宅にいれなくなった場合等の保護、避難場所としても活用された。</p> <p>・入居者の方は地元の方が多くホームでは地域の話がよくされたり、外でも知り合いと交流する機会が多い。住民から行事やイベントへの誘いもあり、地域にとけ込んだグループホームである。</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>島内からの利用が増えており、家族は、農作業等、それぞれの都合に合わせて来訪している。船踊り等の地域行事の際には、家族も誘って一緒に楽しめるよう支援している。</p> <p>玄関先の花壇に季節の花を植え整備している。居間では、台所で食事を作る様子が見えたり、食事ができるにおいがしていた。大きい画面のテレビを設置しており、新たにソファを配置している。テレビの音量は小さめにしていた。洗面台には畑で摘んだ菜の花やホトケノザを飾っていた。居間から中庭に出られ、別ユニットの様子も見える。湿度計を設置し、濡れタオルや加湿器で湿度管理を行っている。</p> <p>新たに、ごごしま小学校の児童との交流が始まっている。小学校の年間行事に組み込んでもらい、児童の訪問がある。事業所の広報誌は島の診療所やデイサービスに置いてもらっている。島内の高齢者について、緊急受け入れの必要なケースがあれば支援している。中学校駅伝大会や島四国の時には、玄関先に出て応援やお接待を行っている。</p>
--

### ・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目: 9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目: 2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目: 11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目: 30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目: 28)		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームごごしま

(ユニット名) みさき・なぎさ

記入者(管理者)

氏名 村上 誠

評価完了日 29 年 2 月 11 日

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価)  玄関ホールには理念を掲示し、ミーティング等で共有し実践 できるように努力している。  (外部評価)  理念は「安心・安全をいつまでも、自分らしく生きていく」と作り、 玄関に掲示している。今後は、家族や地域の方とも共有 して取り組みをすすめていってほしい。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価)  事業所開設から毎日のように、地域の方の訪問や家族様が 来てくれています。 地域行事には、ほぼ毎月参加を行っています。 小・中学校との交流も増えてきました。  (外部評価)  新たに、ごごしま小学校の児童との交流が始まっている。小 学校の年間行事に組み込んでもらい、児童の訪問がある。 事業所の広報誌は、島の診療所やデイサービスに置いても らっている。島内の高齢者について、緊急受け入れの必要 なケースがあれば支援している。中学校駅伝大会や島四国 の時には、玄関先に出て応援やお接待を行っている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価)  地域行事への参加の機会を多く持つことで理解を広める努 力を行っています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>2カ月に1回運営推進会議を開催しており、市担当者や地域の方を交えて情報交換を行っています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>会議には、利用者、家族、町内会長や民生委員等が参加しており、運営状況や取組みの現状、事故報告等を行い、意見を聞いている。さらに、会議メンバーに目標達成計画のモニター役になってもらい、一年の取組みを見守ってもらってはどうか。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議に参加して頂き、情報交換を行っています。また、地域包括支援センターが行っている事業所連絡会にも参加を行っています。生活福祉課には毎月訪問し利用者の生活についての報告を行いました。</p> <p>(外部評価)</p> <p>市や地域包括支援センターの担当者が運営推進会議に参加し、事業所からの運営状況や取組みの現状、事故報告等を聞いている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>身体拘束についての研修を行っている。全職員が禁止事項を理解していると考え、玄関を出るとすぐに道路と海があり、危険性を感じるため、必要時には施錠をしている。ご家族様には説明を行い理解して頂いている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事故発生を機に、利用者の状態や時間帯によって玄関や勝手口等に施錠をしている。以前は自由に外気浴等を行えるよう支援に取り組んでいたが、現在は玄関に、「外気浴は職員に声をかけて、9時半以降」と貼り紙をしていた。「帰りたい」気持ちの強い利用者については、家族がドライブや墓参りに連れ出してくれている。さらに、安全と自由の両面から、利用者の暮らしの環境作りについて、定期的に話し合う機会を作してほしい。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  職員会議・朝礼時にケアの方法について話し合い虐待防止に努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  職員には、外部研修への参加を勧め制度の理解に努めている。現在、対象者はいない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  契約書・重要事項説明書の説明を口頭で行い、重要な点については、わかりやすい説明を行う様に配慮している。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  ご意見箱を設置している。ご家族へは状況報告を心がけ、地域の方からの要望にはも、できる限り対応できるように努めている。  (外部評価)  島内からの利用が増えており、家族は、農作業等、それぞれの都合に合わせて来訪している。船踊り等の地域行事の際には、家族も誘って一緒に楽しめるよう支援している。事業所の広報誌には、普段の食事内容や行事報告、ホームの一日の流れ、食事時間や入浴の回数等のサービス内容を載せている。	家族は利用者の暮らしをともに支えるケアパートナーでもあり、一緒に認知症やケアについて学ぶような機会を作ってはどうか。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月1回、職員会議を設け理事も必ず参加している。職員会議の他に、月2回の会議を実施。朝礼にも話し合いの時間を設けている。	
			(外部評価) 今年度は、外部研修の参加に積極的に取り組んでおり、職員のレベルアップをすすめている。研修内容は、職員会議時に共有している。必要に応じて職員で話し合うミニ会議を行っており、内容は申し送りノート等で共有している。相談室を開放して職員の休憩室に利用している。管理者やユニットリーダーが日々の中で話を聞き、相談に乗っている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 働きやすい職場環境を維持できるように努め、改善を行っている。職員の意見や提案を聞き、運営に反映させるようにしている。	
			(外部評価) 外部研修は費用を会社負担で支援し、順番に個々の行きたい研修又は必要な研修への参加を促し実施している。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 地域包括支援センターの主催する連絡会・勉強会等に参加している。また、島内の介護・医療の事業所連絡会も毎月参加を行っている。	
			(外部評価)	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			(外部評価)	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 事前訪問を行い、情報収集にて本人の要望に対応できるように努めている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価)	家族の話をよく聞き、安心して生活できるサービスを提供することで、よい関係作りが行えるように努めている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)	相談があった場合には、本人・家族の思いの聞き取りを行い、他のサービスを含めた最善の対応を検討する。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価)	一人一人の力に応じた作業や手伝いを一緒に行うことで暮らしを共にする意識を持つようにしている。また、入居者同士の支え合いも大切にしている。	
19		本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)	家族の面会時にはゆっくりと過ごして頂ける環境作りなど配慮を行っている。また、家族に本人の思いを伝えたり、面会の機会を作れるような連絡を行っている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価)	島内の事業所にて、入居者同士の知り合いが多い。また、以前行っていたデイサービスに遊びに行ったり、お墓参り・床屋・買い物など島内の馴染みの場所への外出支援を行っている。	
			(外部評価)		
					他島から利用している方には、地元の島が見える場所にドライブに行っている。島内行事に参加することが、知り合いや身内に会う機会になっている。

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者間で交流が多く図れるようにユニット単位ではなく、ホーム単位で交流の場を提供している。利用者間の相性や意向も踏まえて席の配置を行っている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院時にはお見舞いに必ず行き、転居になった場合にも訪問に行っている。また、狭い地域なので家族と会う機会も多く、様子を伺ったりしている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 会話の中で聞き出すように話を行ったり、家族からも聞き取りを行い本人が望む生活が送れるように努めている。 (外部評価) 利用者の様子によっては、居室に誘ってゆっくり気持ちを聞くようにしている。	利用者の思いや暮らし方の希望、意向についての情報を整理して、まとめるような取り組みもすすめてほしい。生活歴や馴染みの暮らし方、こだわりや大切にしてきたこと等の情報を支援に採り入れて、「自分らしく生きていく」という理念の実践に取り組んでほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 家族への聞き取りを行ったり、必要であれば、担当のケアマネージャーや医療機関から情報を得ている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 生活リズムの把握や体調の移り変わり方などを全ての職員が把握できる様に努め対応している。	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	(自己評価)	
			<p>本人の要望・思いや日々の情報を計画に入れ、介護計画の作成を行っている。会議の時間を設け、現状にあったケアの提供が行えるようにしている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>介護計画の様式を変更しており、援助目標と手順を示してモニタリングと連動するようにしている。半年ごとに見直すことになっている。</p>	<p>さらに、本人や家族の意見や希望を採り入れた計画作成に取り組んでほしい。又、地域や家族等、チームで利用者を支えていけるような取り組みが期待される。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	(自己評価)	
			<p>日々の身体状況や生活状況を記録に残し、特記事項は記録すると共に、申し送りにて情報を職員で把握できるようにしている。職員の情報の共有にはユニットごとの情報ノートも活用している。</p>	
			(自己評価)	
		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者・家族・地域の要望には柔軟に対応している。また、離島のため、既存のサービスに捉われず、地域も支えられる支援を行えるように努めている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	(自己評価)	
			<p>地域との結びつきが非常に強く、島内行事への参加など積極的に行っている。また、島内の人材を職員として採用することで、地域の雇用促進にも繋げている。また、町内会・民選委員・警察とも日ごろより連絡を行っている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	(自己評価)	
			<p>要望や必要があれば専門医師の診察を行っている。日常の診察は協力医療機関への診察を行っている。普段の状態を記録に残し、いつでも医師に報告できるようにしている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>診療所から往診に来てくれている。看護師資格を有する職員が医療関係の研修に参加して情報を得ている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	(自己評価)	
			<p>協力医療機関より、月1回の往診と週1回の看護師による健康管理を行っている。当施設にも看護職員2名配置しており、医療機関との連携も随時行っている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>診療所から往診に来てくれている。看護師資格を有する職員が医療関係の研修に参加して情報を得ている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	(自己評価)	
			<p>入退院時は情報提供を行い、医療機関と情報の共有をしている。協力医療機関を通じての入院が多いため、日々、心身の変化がある場合には相談や報告を行っている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>診療所から往診に来てくれている。看護師資格を有する職員が医療関係の研修に参加して情報を得ている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>本人・家族にとって、一番よい方法の話し合いを行う。必要な段階には、家族・医師・職員にてしっかり話し合いを行い、チームでの支援に取り組んでいる。</p>	
			(外部評価)	
			<p>この一年では、初めて事業所で看取りを支援した。持病があるものの本人が「入院はしたくない」と意思表示したことを受け、家族も交えて本人の気持ちを大切に話し合い、方針を共有して支援した。ご主人の写真を見えるところに飾ったり、過ごしやすい空間づくり等に配慮した。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			急変時の手順や対応方法は会議の時間を設けて、全職員に周知徹底を図っている。連絡手順と対応方法は見えやすいスタッフルームにも貼り付けている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			防災訓練を行い、消防の協力の下避難訓練等を実施しました。島内防災訓練にも職員・入居者ともに参加を行った。	
			(外部評価)	
夜間災害対応マニュアルを作成した。10月の全島避難訓練時には、津波を想定して高台に避難する訓練を行った。港までの道が暗いため、運営推進会議時に話し合い、街灯を付けてもらった。	さらなる安全安心に向けて、夜間帯を想定した訓練や地震、津波等を想定した訓練等を地域住民と一緒に行ってほしい。マニュアルに沿った訓練や、日常の中でも災害の対応を意識できるような取り組みが期待される。			
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			それぞれの人格を踏まえてプライバシーに配慮した声かけ、ケアを行うように心がけている。	
			(外部評価)	
利用者同士の関係をみながら席順を決めている。お誕生日には、本人にリクエストを聞き献立に反映している。毎朝の更衣時には、洋服を自分で選べるよう支援している。又、食後の歯磨き時には、義歯を自分で入れることを支援したり、入浴時には、洗えるところは自分で洗う等、自分で行えるよう支援している。				
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			やりたいことの聞き取りや思いをくみ取り、実現できるように支援している。職員が安易に答えを出さず、自ら考えて思いを出せるように心がけ支援を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)  可能な限り本人の気持ちを優先し、自分のペースで生活が送れるように支援を心がけている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)  島内の床屋にて散髪や外部の利美容の支援を受け本人の思うように髪も整えてもらっています。身だしなみは毎朝の洗顔時や入浴時・更衣の際に支援をしています。出来る方は本人にまかせ、毎朝化粧をされる方もいます。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)  食事の準備・片付け等は出来る範囲で一緒に取り組んでいます。食材には旬のものを取り入れ、行事には好みの食を取り入れるようにしています。	
			(外部評価)  職員と一緒に台所で調理したり、食後の洗い物やお盆拭き等、できる人が行えるよう支援している。職員も利用者の中に入り、一緒に同じものを食べている。ユニットによっては献立をホワイトボードに書いて表示して話題にしていた。食が進まない方には、アンパンやお饅頭等、本人が食べやすいものを用意して支援している。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)  食事の量・形状は個々に合わせ提供しています。水分量も毎日計量し、職員全員で把握できるようにしています。メニューは定期的に見直しを行い、栄養バランス等の改善にも努めている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)  食後の口腔ケアの支援・声かけを行い、毎回実施。チェック表への記入と記録を残しています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			出来るだけトイレで排泄を行えるように、支援を行っている。毎日の申し送りでも、一人ひとりの排便日と排尿回数を確認して、排泄パターンに応じて声かけ・誘導を行っている。	
			(外部評価)	
			日々排泄状況を記録しており、カンファレンス時に利用者の排泄状況について話し合っている。パッドは、日中と夜間で使い分ける等、状態に合った支援を行っている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			排便がスムーズに出来るように、個々に合わせた飲み物・腸にいい食べ物の提供と服薬調整も行っている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			週に2~3回程希望を聞きながら入浴を行っている。入浴時間の希望も聞き取りを行っている。入浴時間や回数は個々に合わせて支援している。	
			(外部評価)	
			利用者個々に週2回程程度、午前中に入浴できるよう支援している。入浴剤を入れたり、浴槽のまたぎが難しい方にはリフトで支援している。職員とおしゃべりしながら、入浴を楽しめるよう支援している。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			安心して気持ちよく眠れるように室温や湿度調整を行っている。寝具も清潔を保てるように定期的に交換。眠れない方や休息のためにリビングや和室にソファを設置しました。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価)	心身の状態改善のために、服薬に関しては医療機関・薬局と情報交換を密に行っている。情報は個人ファイルと複写をユニットごとに作成し、誤薬のないように努めている。
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価)	それぞれの生活歴や得意なこと好きなことを把握し、個々の楽しみを可能な限り行えるようにサポートしている。
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価)	希望にそって、地域への外出、ドライブや地域行事への参加も積極的に参加しています。家族との外出や外泊の支援も行っている。
			(外部評価)	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)	個々の能力によって管理方法を判断して施設管理と個人管理を分けている。個人管理の方は、あまり多く持たない様に家族の支援・理解を得ている。買い物を楽しみにされる方も多く自己管理が出来ない方にも立て替え支払いを行い対応している。
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)	個々の希望に応じて電話も利用頂いています。携帯電話を持たれている方もいらっしゃいます。手紙や郵送物はその都度支援を行っている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>季節によって壁の掲示物を作成。共用部分の掃除もこまめに行い、清潔感を保っている。日々の清掃チェック表と季節ごとの清掃チェック表を活用している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関先の花壇に季節の花を植え整備している。居間では、台所で食事を作る様子が見えたり、食事ができるにおいがしていた。大きい画面のテレビを設置しており、新たにソファを配置している。テレビの音量は小さめにしていた。洗面台には畑で摘んだ菜の花やホトケノザを飾っていた。居間から中庭に出られ、別ユニットの様子も見える。湿度計を設置し、濡れタオルや加湿器で湿度管理を行っている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>交流がしやすいように、リビングに畳の部屋を用意している。また、天気の日にはウッドデッキでお話しをする機会も多い。新しくソファも設置した。</p>	
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>使い慣れた家具や生活用品を持参して頂いている。家族には、環境整備の必要性を話し、協力頂けるように説明を行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>クローゼットに衣類等を整理している。孫や両親等の写真を飾っている方もいる。カレンダーに自身で予定を書き込んだり、職員から借りた本を読んだりする利用者もいる。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>自立を促進でき本人の力が発揮できやすいように場所の表示をわかりやすく工夫している。また、移動する動線には危険がないように片付けや安全対策を行っている。</p>	